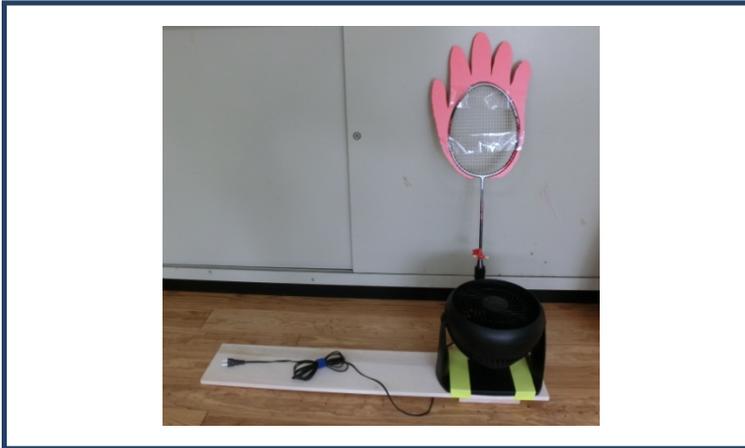


主な使用場面・領域・教科等： 自立活動， 運動会

<図・写真>



<材料・製作方法等>

扇風機 バドミントンラケット
スイッチラッチアンドタイマー
リモコンリレー ビッグスイッチ
風船 ゴム 割り箸

①座位保持装置に設置できるように，板に扇風機を取り付ける。②扇風機の横にラケットスイング装置を取り付ける。③扇風機とリモコンリレー，スイッチラッチアンドタイマー，ビッグスイッチを接続する。

<ねらい>

- 自分の動き（スイッチ操作）によって扇風機が動いて風船が浮く，ということが理解できるようにする。
- ラケットで風船をアタックする楽しさが分かるようにする。

<指導方法・留意点等>

- ①左腕によるスイッチ操作とストッパー解除を繰り返し練習し，左腕の動きと目の前で起こることの因果関係が理解できるようにする。
- ②左腕の動きが高い成功率でスイッチ操作につながるように設定を調整する。
- ③スイッチ操作への興味や意欲を高めるために，風船の大きさや数を変えて取り組む。

※風船の上下運動には，取り付ける座位保持装置の角度が意外と重要である。

<指導経過・成果・課題・展望等>

左の脇腹にビッグスイッチを挟み，腕を大きく引き込むとスイッチが押されて入るように設定して取り組んだ。その結果，言葉掛けや体への刺激によって左腕を動かし，スイッチを入れることができた。また，目の前で風船がふわふわと動く様子も，視線を動かして見ることもできた。

ただ，自発的な動きや操作の正確性から考えると，「意識して風船を浮かせるためにスイッチ操作をする」という感じではなかった。

運動会当日は，座位保持装置の角度がいつもと違っていたため，風船があまり浮かず，練習通りとはいかなかったが，なんとかスイッチ操作とストッパー解除をし，ミッションをクリアできた。

その後は，スイッチ操作の成功確率を高めるために水之浦先生に相談して，比較的弱い力でも操作が可能なマイクロスイッチを使った「指輪型スイッチ」→「○○さん用握りスイッチ」を製作していただいた。その結果，現在では引き込み動作をほぼ確実に拾ってスイッチ操作につなげることができており，将来的な目標である，随意的な操作による機器の使用と，それによる成就感や自己解決力の芽生えに大きく近付くことができた。

